

改訂日:2022年03月29日

## 安全データシート

### 1.【製品及び会社情報】

カタログ番号 245159  
製品名 BD ミジット™ TBc ID  
会社名 日本ベクトン・ディッキンソン株式会社  
住所 東京都港区赤坂4丁目15番1号  
連絡先 0120-8555-90  
使用上の制限 体外診断用医薬品

### 2.【危険有害性の要約】

#### GHS 分類

物理化学的危険性	爆発物	等級 1.1
	可燃性ガス	区分に該当しない
	可燃性エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない
	可燃性固体	分類できない
	自己反応性化学品	分類できない
	自然発火性液体	分類できない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	分類できない
	水反応可燃性化学品	分類できない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	分類できない
	有機過氧化物	分類できない
	金属腐食性物質	分類できない
	鈍性化爆発物	分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	分類できない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入:ガス)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入・蒸気)	分類できない
	急性毒性(吸入:粉塵、ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性/刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原性	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(麻酔作用)
	特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性 短期(急性)	分類できない
	水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

爆発物:大量爆発危険性  
眠気又はめまいのおそれ

注意書き

- 安全対策
- 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
  - 他の容器に移し替えないこと。
  - 容器を接地しアースをとること。
  - 粉碎／衝撃／摩擦のような取扱いをしないこと。
  - 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。
- 応急措置
- 火災の場合:爆発する危険性あり。区域から退避させること。炎が爆発物に届いたら消火活動をしないこと。
- 保管
- 換気の良い、冷暗所で保管すること。
  - 容器を密閉しておくこと。
- 廃棄
- 内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託し適切に廃棄すること。

### 3.【組成及び成分情報】

化学物質・混合物の区別 混合物

化学名または一般名	濃度(%)	CAS 番号	官報公示整理番号	
			化審法	安衛法
ニトロセルローズ	>99	9004-70-0	(8)-176	—

### 4.【応急措置】

- 吸入した場合 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪いときは、医師の診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合 水と石鹼で洗うこと。  
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
- 眼に入った場合 水で数分間注意深く洗うこと。  
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合 口をすすぐこと。  
気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。

### 5.【火災時の措置】

- 消火剤 水噴霧、泡消火剤、乾燥砂類
- 使ってはならない消火剤 棒状放水、炭酸ガス、粉末消火剤、ハロゲン化物
- 特有の危険有害性 熱、衝撃、摩擦、及び静電気により爆発するおそれがある。  
ニトロ化の程度(窒素量)、希釈剤の有無によって、爆発性、発火性が大きく異なるので、留意すること。
- 特有の消火方法 区域より退避させること。
- 消火を行う者の保護 炎が火薬類に届いたら消火しないこと。  
炎が火薬類に届いたら退避すること。

### 6.【漏出時の措置】

**人体に対する注意事項、  
保護具及び緊急時措置**

全ての着火源を取り除く。  
直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。  
関係者以外の立入りを禁止する。  
一般の人を現場が見えなくなる地点まで移動させ、窓から離れさせる。  
環境中に放出してはならない。  
回収・中和:漏洩物の除去や廃棄処理は専門家の指示による。  
漏洩物の除去や廃棄処理は専門家の指示による。  
二次災害の防止策:すべての発火源を速やかに取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)。

**環境に対する注意事項  
封じ込め及び浄化の方法  
及び機材****7.【取扱い及び保管上の注意】****取扱い**

技術的対策  
安全取扱注意事項

火薬類取締法の規制に従う。  
火薬類取締法の規制に従う。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。  
粉碎、衝撃、摩擦のような乱暴な取扱いをしないこと。  
粉じん、ヒューム、蒸気、スプレーの吸入を避けること。  
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。

接触回避  
衛生対策

『10. 安定性及び反応性』を参照。  
取扱い後はよく手を洗うこと。

**保管**

技術的対策  
混触禁止物質  
安全な保管条件

消防法の規制に従う。火薬類取締法の規制に従う。  
『10. 安定性及び反応性』を参照。  
火薬類取締法の規制に従う。  
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から離して保管すること。ー禁煙。  
乾燥により爆発危険性が増す場合、製造または運転プロセスに必要な場合を除き、適切な物質にて湿らせて保管すること。  
国または都道府県の規則に従って保管すること。  
換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

**8.【ばく露防止及び保護措置】**

製品としての情報がないため以下、ニトロセルローズの情報を記載する。

**ニトロセルローズ****管理濃度**

未設定

**許容濃度**

日本産業衛生学会  
ACGIH(TLV-TWA)  
ACGIH(TLV-STEL)

未設定 (2009 年版)  
未設定 (2009 年版)  
ー

**設備対策**

火薬類取締法の規制に従う。  
消防法の規制に従う。

**保護具**

呼吸用保護具  
手の保護具  
眼の保護具  
皮膚及び身体の保護具

適切な呼吸器保護具を着用すること。  
適切な保護手袋を着用すること。  
適切な眼の保護具を着用すること。  
適切な保護衣、顔面用の保護具を着用すること。

**9.【物理的及び化学的性質】**

物理的状態、形状、色など  
臭い  
pH  
融点/凝固点

固体  
特異臭  
データなし  
データなし

沸点又は初留点及び沸点範囲	データなし
引火点	180℃
可燃性	データなし
爆発下限及び爆発上限界／ 可燃限界	データなし
自然発火点	データなし
分解温度	データなし
動粘性率	データなし
溶解度(水)	不溶
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	データなし
蒸気圧	12 hPa (20 ° C)
密度及び／又は相対密度	データなし
相対ガス密度	データなし
粒子特性	データなし

## 10.【安定性及び反応性】

製品としての情報がないため以下、ニトロセルロースの安定性及び反応性情報を記載する。

### ニトロセルロース

反応性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
化学的安定性	法規制に従った保管及び取扱においては安定と考えられる。
危険有害反応可能性	乾燥すると自然発火する。燃焼すると急速に分解し、窒素酸化物を生成し、火災や爆発の危険をもたらす。酸化剤、塩基、酸と反応する。
避けるべき条件	乾燥、燃焼
混触危険物質	酸化剤、塩基、酸
危険有害な分解生成物	窒素酸化物

## 11.【有害性情報】

製品としての情報がないため以下、ニトロセルロースの有害性情報を記載する。

### ニトロセルロース

#### 急性毒性

経口(ラット LD <sub>50</sub> )	>5000 mg/kg (PATY (5th, 2001) に基づき区分外とした。なお、ヒトの想定致死量が 500～5000 mg/kg との記載 (HSDB (2003)) もある。
経皮(ウサギ LD <sub>50</sub> )	データ不足のため分類できない。
吸入(粉塵、ミスト、ラット LC <sub>50</sub> )	データ不足のため分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	データ不足のため分類できない。
眼に対する重篤な損傷性／刺激性	データ不足のため分類できない。
呼吸器感受性	データ不足のため分類できない。
皮膚感受性	データ不足のため分類できない。
生殖細胞変異原性	データ不足のため分類できない。
発がん性	データ不足のため分類できない。
生殖毒性	データ不足のため分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	経口摂取による中毒は、発現が速く持続時間が短いことを除きエタノールと類似しており (HSDB (2003))、吸入した場合はめまい、多幸感、中枢神経系の抑制、または、呼吸困難、意識喪失を起こす可能性があるとの記載 (HSDB (2003)) に基づき、区分 3 (麻酔作用) とした。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データ不足のため分類できない。
誤えん有害性	データ不足のため分類できない。

## 12.【環境影響情報】

製品としての情報がないため以下、ニトロセルロースの環境影響情報を記載する。

### ニトロセルロース

**生態毒性**

水生環境有害性(急性) 藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)での96時間EC50=579000 μg/L(AQUIRE, 2010)であることから、区分外とした。  
水生環境有害性(慢性) 急性毒性区分外であり、難水溶性ではない(水溶解度=1000000 mg/L (PHYSPROP Database, 2009))ことから、区分外とした。

残留性・分解性 データなし  
 土壌中の移動性 データなし  
 生態蓄積性 データなし  
 オゾン層への有害性 該当しない

**13.【廃棄上の注意】**

**残余廃棄物** 廃棄の前に、可能な限り無害化、安定化及び中和等の処理を行って危険有害性のレベルを低い状態にする。  
 廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。  
**汚染容器及び包装** 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。  
 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。

**14.【輸送上の注意】**

**国際規制**

国連番号 3270  
 国連品名 Nitrocellulose membrane filters  
 国連分類 4.1  
 容器等級 II  
 海洋汚染物質 該当しない

**国内規制**

陸上規制情報 消防法の規定に従う。火薬類取締法の規制に従う。  
 海上規制情報 船舶安全法の規定に従う。  
 航空規制情報 航空法の規定に従う。

**特別安全対策**

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。  
 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。  
 重量物を上積みしない。

**15.【適用法令】**

労働安全衛生法	危険物・爆発性の物(ニトロセルローズ) 名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条:ニトロセルローズ) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2:ニトロセルローズ)
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	該当しない
毒物及び劇物取締法	該当しない
大気汚染防止法	揮発性有機化合物(ニトロセルローズ)
水質汚濁防止法	該当しない
海洋汚染防止法	有害液体物質(Z類物質)(ニトロセルローズ)
消防法	危険物 第5類 自己反応性物質 硝酸エステル類 危険等級I

**16.【その他の情報】**

参考文献

安全衛生情報センター モデル MSDS 情報データベース

GHS 混合物分類判定システム  
NITE 総合検索

記載内容は、一般に入手可能な情報及び自社情報に基づいて作成しておりますが、現時点における科学又は技術に関する全ての情報が検討されているわけではありませんので、いかなる保証をなすものではございません。又、注意事項は、通常の取り扱いを対象としたものであります。特殊な取り扱いの場合には、この点のご配慮をお願いいたします。

改訂履歴	新規作成	2016年05月31日
	改訂第1版	2022年03月29日